

祝 辞



中野都税事務所
白石真一

皆さま、明けましておめでとうございます。

中野都税事務所長の白石でございます。令和7年の幕開けにあたり、一言ご挨拶させていただきます。

旧年中は、横山会長をはじめ会員の皆様方には、都政全般にわたり、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、税務行政に対しまして、都税広報記事の会報への掲載や、各種イベントでの広報活動、適正な申告納付や、電子申告推進へのご協力、租税教育の一環となる租税教室の開催や税に関する絵はがきの実施など、格別の御協力をいただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。

さて、東京都では、すべての人が輝く明るい「未来の東京」を実現するため。都市の強靱化やエネルギーの安定確保、チルドレンファースト社会の実現など、様々な取り組みを進めております。こうした取組は、都民の皆様が納めていただいている都税によって支えられております。

主税局では以前より、納税者の利便性向上のためにDXを始めとしたさまざまな取り組みを行い、より便利でより専門性の高い税務行政の構築

に向けた業務改革を進めているところで。

今年も引き続きキャッシュレス納税の推進を始めとしたさまざまな取組を通じて、サービスの質の向上を、利用者、納税者、事業者の方々に感じていただけるよう、より一層努力してまいります。そして主税局一丸となって、改善・改革の手を緩めることなく、さらに質の高い税務行政を実現してまいります。

多くの課題を乗り越え、誰もが生き活きと活躍できる東京を実現する上で、都税は大切な財源となります。皆様からの御協力をいただきながら、都税収入の確保に一層努めるとともに、中小企業支援や環境改善など、税制面からの支援もしっかりと継続して取り組んでまいります。

中野都税事務所といたしまして、本年も納税者の皆様に寄り添い、親切できめ細かい対応を心がけながら、適正かつ公平な税務行政の推進と、効率的な事務運営に努めてまいります。皆様の変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が公益社団法人 中野法人会にとりまして、更なる飛躍の年となりますよう、また、会員の皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とします。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



中野区長
酒井直人

明けましておめでとうございます。令和6年の新しい年を迎え、公益社団法人中野法人会の皆様には、区政に対しまして、ご理解と多大なるご協力を賜り、また日頃より税金クイズを通じ、税知識の普及に努める活動にご尽力いただきまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、約50年ぶりに新庁舎に移転いたしました。新しい取組といたしまして、書類のペーパーレス化、執務室のフリーアドレス化、会議室だけで打合せをするのではなく、オンライン会議を活用する等、様々なデジタル化を推進しております。デジタル化の効果によりまして、区職員の業務効率化が進み、業務負担が少なくなり他の業務にも取り組めるという声がありました。

中野区役所の基本構想に「つながる はじまる なかの」というキャッチフレーズがございます。10年後に目指す中野のまちの姿の構想の実現に向けた基本計画が2025年度で終了します。区民の皆

様が参加されるタウンミーティングを通じ、たくさんの方の声を生かし2026年度から5年間を計画期間とする次期基本計画の素案作成に反映させていきたいと考えております。中野法人会の皆様からも様々な意見を頂戴できればと存じます。

中野法人会の皆様のネットワーク、そして強い結束力が、まさに中野区役所が掲げるキャッチフレーズを体現させていると常日頃から感じております。

結びに当たり、中野法人会の更なるご発展並びに会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

